

竹原管内景況調査

12月の景況DIは、製造業は悪化、非製造業は好転

当所では、地域商工業者の景況並びに経済動向等に関する情報の収集・分析を行っています。今号では、令和元年12月に実施しました調査結果がまとまりましたので、ご報告いたします。

調査概要

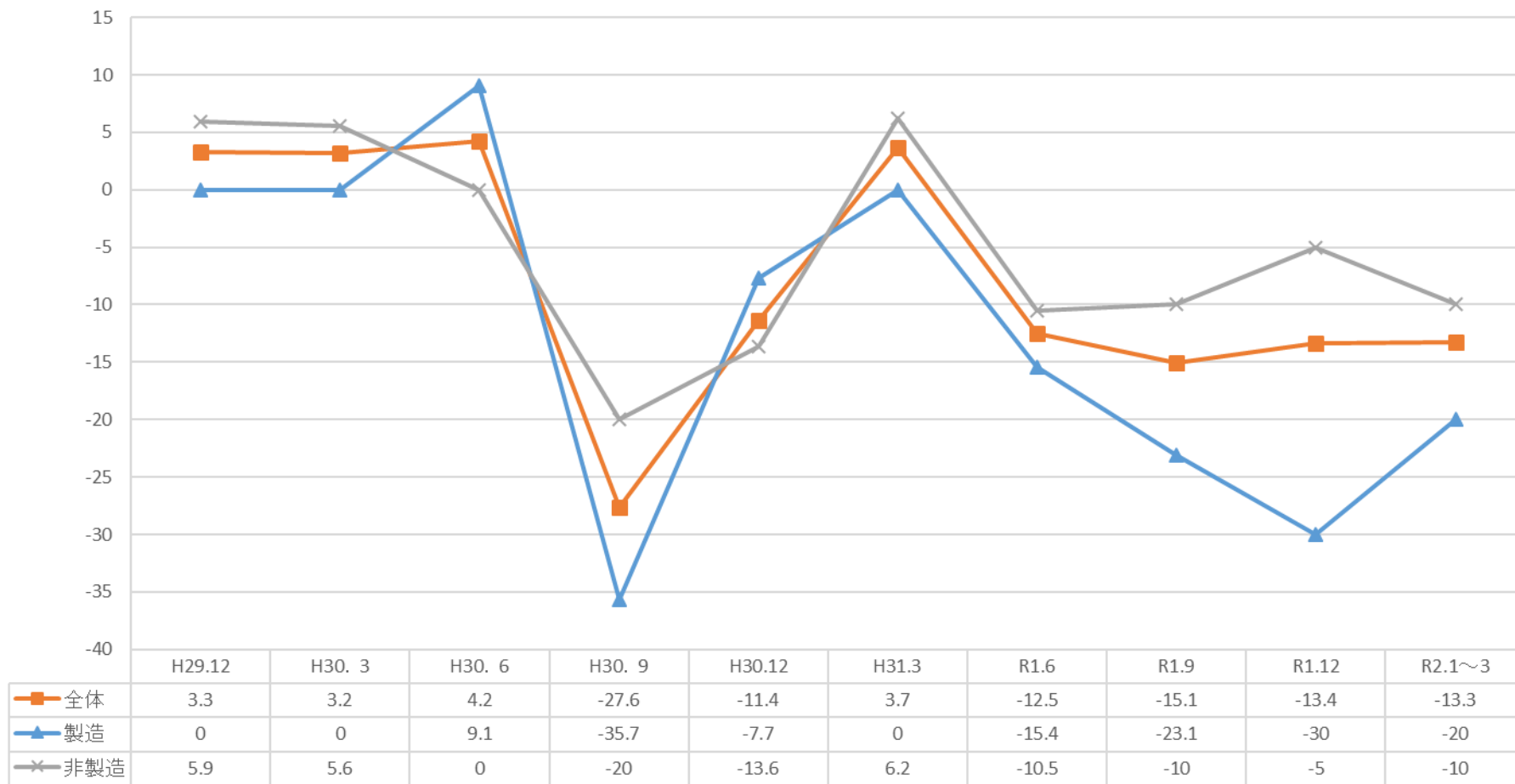
【調査時期】
四半期毎に調査(年4回実施)
【調査期間】
令和元年12月
【調査対象】
当所会員

回答状況

産業	対象事業所	回答数
製造	17	10
建設	6	4
小売	13	9
サービス	17	7
合計	53	30

●全産業におけるDI値

景況DIの推移



12月の景況DI数値は、前回調査と比べて製造業は6.9ポイント悪化し、非製造業は5ポイント好転しています。
12月と比べて1月~3月までの見通しは、全体では、0.1ポイント好転しています。



※DI(ディフュージョン・インデックス)は、各調査項目についての判断の状況を示します。

ゼロ基準として、プラス値は景気の上向き傾向(「良い」)をあらわす回答の割合が多いことを示し、マイナス値(▲)は景気の下向き傾向(「悪い」)をあらわす回答の割合が多いことを示します。

●景況が好転(悪化)した理由について

- ・飲食市場が悪く不安(製造業・食品)
- ・原材料の高騰・ニーズの多様化のため(製造業・土石・窯業)
- ・世界的に半導体関連の製造が先送りになり、受注が減少(製造業・機械・金属製品)
- ・12月前年同月比較では、前年あった調理ソースが精算移管したために前年減少の影響が出てる(製造業・食品)
- ・消費税増税による買い控え、顧客の減少による売り上げダウン(小売業)
- ・消費税増税による受注不足を懸念していたが、宿泊部門と共に宴会部門も電源開発関連工事関係者利用を順調に取り込めた。(サービス業)
- ・災害復旧工事の増加(建設業)

●貴社の来春の採用状況についてお聞かせください

- ・社員1名採用予定(製造業・食品)
- ・採用予定(製造業・機械・金属製品)
- ・2名採用予定(製造業・機械・金属製品)
- ・総合職9名 地域色12名採用(製造業・食品)
- ・採用予定なし(製造業・機械・金属製品)
- ・高卒新卒者1名採用予定(サービス業)

(※アンケート全体から一部抜粋しています。)